

HON TAN

図書館ボランティア「本探」が
司の図書館情報をお知らせします

おいしい
情報がいっぱい



第25号
2012年
1.2月合併号

HON TAN 12PIECES

今回のテーマは
**「実在する地名が
出てくる本」**です。
小説で旅行、してみませんか？

珠のおすすめ 有川浩 913.6/A
『クジラの彼』
各県主要地を舞台にしたバクオム恋愛短編小説。北海道は真駒内駐屯地が舞台となっています。

とあかのおすすめ 梓崎優 913.6/S
『叫びと祈り』
ロシア・スペイン・アマゾンの集落。主人公木村は世界各地で謎と遭遇します。

なのかのおすすめ アゴタ・クリストフ 950.278/k
『文盲 アゴタ・クリストフ自伝』
ハンガリーから亡命した先の言葉で作家デビュー。言語がとまどげ国に帰属しているかを感じる。

ニ川のおすすめ 内田百閒 913.6/U
『東京日記：他六篇』
大正の東京で起こる不思議な出来事。日比谷丸の内等実際の地名が沢山登場します。

花蓮のおすすめ 有川浩 913.6/A
『県庁おもてなし課』
高知県庁おもてなし課、新米職員・掛水はある作家に観光特使を依頼するが...

傘のおすすめ 宮沢賢治 918.6/C-3
『宮沢賢治』
『春と修羅』に青森について描いた詩があります。美しく、悲しいです。

卯月のおすすめ 933.7/B-1
『天使と悪魔』
ウツチカン市国は事件の中心となる都市。犯人はこの中に...?

そらのおすすめ 小路幸也 913.6/S
『僕は長い昼と長い夜を過ごす』
睡眠障害を持つ主人公の東家は東苗穂。約2億円の裏金を得たことから追われることに。

あきのおすすめ 伊坂幸太郎 913.6/I
『重力ピエロ』
宮城県仙台の街で起こる連続放火事件。兄弟が解明した謎の先に見えるものとは...

カンのおすすめ 真保裕一 913.6/S
『アンダールシア』
黒田康作はバルセロナから現地に向かい一人の日本人女性と出会う。彼女は何かの...

Y田のおすすめ 伊坂幸太郎 913.6/I
『ゴールデンランバー』
仙台で行われた首相の凱旋パレード。同時に旧友と再会し、青柳をとりまく大きな陰謀とは...

きょうのおすすめ 島田荘司 913.6/S
『御手洗潔のダンス』
主人公の御手洗と友人の石岡くんが暮らすのは、横浜の馬車道。それが怪盗だ。

今月の1冊

思田陸著
『夜のピクニック』
913.6/O

舞台はとある高校の行事、夜間歩行。年に一度、決められたコースを24時間かけて歩くというもの。そしてこの行事に参加する高校3年生、西脇融と甲田貴子の2人が今回の主役。彼らには、校内の誰も知らない秘密があった。それは彼らが異母兄妹であること。そして、そのことが原因で彼らの仲はぎくしゃくしたものだった。特に、融の父の浮気で生まれた貴子は融から恨まれていると考え、なんとかこの状況を打開したいと考えていた。そこで彼女はこの夜間歩行中にちょっとした「賭け」をすることにした。
修学旅行中、夜中にこっそり起きてみんなで語り合いましたよね。この話はそんな1冊です。普段言えないような真面目な話が飛び出すのです。青春したくなるようなお話です。

<のすみ>



今回のテーマは、「2011年、どんな本を読んだ? どんな本が話題だった?」です。昨年出会ったいくつかの本について、とあか、花蓮、きょう、珠、傘がおしゃべりします!

と: あけましておめでとうございませう。さて、みなさんまず2011年はどんな本を読みましたか?

傘: 僕は急に近代の文学作品を読みたくなって夏目漱石の『こころ』(913.6/4)を牛べり読んできました。

珠: 私は岩波文庫に大変お世話になりました。過去の海外文学の面白さに惚惚込み少しずつ読んでいます。と、いってまたまだ少ないのですが、翻訳の独特の言い回しが好きなんですよね。

と: 私は、読んだ本の中では『ぼくには数字が風景に見える』(936/T)が印象に残って

ます。1人でいくつもハンディキャップを持った人が、それでも自分らしく生きていくノンフィクションの読みやすさから、勉強になりました。

花: 私は三浦しをんの『舟を編む』(910.4/M)が印象に残っていますね。辞書編集部を舞台にしたお話。三浦しをんはいつも目のつけどころが独特だなあと思います。一年中日本語と格闘している辞書編集部の人たちの姿はなぜかすぐく輝いていて、ひとつのことに情熱をこれほど傾けられるのはすごいなと感じました。

き: 私は意味もなく恋愛小説読んだりしてました。山崎ナオコラとか小手鞠るいとか。読書メモには女性作家の名前しかないですね。そんな中で一番おもしろかった本は三浦しをんの『きみはホラリス』(913.6/M)です。

と: なんか偶然にも三浦しをん率が高いかんじ?

花: あ、そういえば、三浦しをんの『風が強く吹いている』(913.6/M)の影響で、前からちゃんと思ってみてみたいと思っていた猪根

豚伝、今年はじめとちゃんと見たら(はまりました。人間ドラマ、てすぞい!

と: 風が強く吹いている』は、読むと豚伝見たくなるよね。

しやあ、2011年に話題になった本は何だったと思いますか?

珠: 東野圭吾作品が沢山出ていた印象があります。三月に一冊くさいのペースで新刊が並んでいったような...

傘: 映画化された『探偵はBARにいる』が話題だった気がします。本屋に行ったらそのシリーズが自立するように並んでいたのが印象的です。

花: 『探偵はBARにいる』の原作が小説だったこと、今知りました笑

と: ぜひ読んでみて下さい☆さて、今年はどうな本に出会えるのでしょうか。楽しみにですね!

珠の本探力

「おみくじ」

皆さんは、おみくじの縁起の良い順番をご存じですか?

縁起の良い順番は『大吉>中吉>小吉>吉>吉』

>凶>大凶』となっているそうです。良い結果が出た人も、あまり良くなかった人も、そもそも引いていない人も、頭の片隅に置いておいてはいかがでしょうか。

占いの結果を胸に留めるのは良いですが、振り回されるようになってはダメです。『占いの謎: いまも流行るそのわけ』板橋作美 (148/I)



第二次世界大戦前の実際の出来事。イギリス国王ジョージ6世は、吃音障

害を持っているため人前でスーズに演説出来ないことに悩み、みすぼらしい診療所を訪れた。そこで、礼儀知らずのなれなれしい医者(?)と出会う。彼は障害を克服して国民の士気を高める演説を行うことが出来るのか。⇒『英国王のスピーチ』778.72/E <きょう>



BRUTUS 2012年 1月15日号

今号の「BRUTUS」では、いま読みたい23ジャンル115冊 誰かが読んで面白かったものが「イット」と題し、本が紹介されています。ミステリなどだけでなく、奇想小説、少女小説など聞いたことのないようなジャンルの本も。この特集をきっかけに、新しいジャンルを開拓してみるのもいいかもしれません。 <花蓮>

HONTAN 展示で見つけ

企画展示紹介 今回のテーマは「先生が出てくる本」です。様々な先生が出てくる本を来年度教育実習に行く2人が紹介します! <きょう>

DVD展示紹介 寒い冬ですね。今回は寒さに負けない心暖まる話と、より寒くなれそう残酷な話をご用意いたしました。 <のすみ>



あけましておめでとうございませう。新年最初の機関紙HONTANいかがでしたか? 本年もたくさんのおすすめ本の紹介をしていきたいと思っておりますので、よろしくおねがいいたします。楽しんでいただければ幸いです。寒い日が続きそうですが風邪は十分に気を付けて下さいね。(あか)